

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 820100 TEL 2998-9238						
事業コード	中学生海外文化交流派遣事業	学校教育課						
820107		グループ 指導担当						
開始年度 平成11年度 → 終了年度 年度								
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加						
	分野別計画・指針	根拠法令						
	関連・類似事業	所沢市中学生海外文化交流派遣事業実施要綱						
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ 節 学校教育	基本方針	確かな学力と自立する力の育成				
事業開始の背景	政治・経済・文化等様々な分野における急速な国際化に対応するためには、将来を担う中学生の国際感覚や国際認識を高めることが必要であり、各学校の国際理解教育の充実を図るうえで異文化交流の体験を広めることが重要と考え、事業を開始した。							
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	将来の所沢を担う中学生の国際感覚や国際認識を高め、国際的視野から所沢市を見つめ、体験を報告する機会をすることにより郷土愛を持ち、国際社会に対応できる人材の育成を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度 30人 平成 27 年度 30人				
	事業の具体的な内容及び実施方法							
①中学校長の推薦により、面接の上、派遣中学生(30人)を決定する。 ②事前研修を4回実施し、所沢市の代表としての自覚、自己表現力を身につける。 ③シンガポール日本人学校の授業体験や現地校の生徒と交流する。 ④派遣は、3泊5日 ⑤市、学校等での報告会やパネル展示等で体験を他の生徒へ広げていく。								
④経費	<会計種別>	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	当初予算		5,963	6,783	6,259			
	決算(見込み含む)		5,492	5,098				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人) (0.00 人)	(0.00 人) (0.00 人)					
	正規職員人件費	0.45 人	3,924	0.25 人	2,165			
	事業費合計		9,416	7,263				
財源内訳	一般財源	6,506	4,503	2,719				
	国・県支出金	0	0	0				
	その他(保護者一部負担金)	2,910	2,760	3,540				
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	派遣中学生	当該年度の派遣中学生	人	30	30	30	30
		派遣率	派遣生徒数/在籍中学生数	人	0.37	0.37	0.37	0.37
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	報告会回数	各校の報告会+市報告会+展示報告	回	目標値	17	17	17
					実績	17	17	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください	
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	訪問する現地校を私立学校から公立学校へ変更した。生徒は、同じ公立学校の中学生と英語での交流を深めることができた。			-				
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	校内の報告会の内容をより充実したものにし、派遣生徒の体験をより多くの生徒に伝えとともに、自らの生活を振り返り、よりよく改善していく意欲を育む必要があるため。		
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	中学生の国際感覚や国際認識を高めることに有効であるため、引き続き本年度と同様に事業を実施していく。			
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
評価	事前研修会から、各学校での報告会を見据えて、研修会にのぞむよう指導、支援を行った。また、報告書の内容は、テーマを絞って作成できるよう指導を進めている。			参加した生徒の視野を広め貴重な体験を得られるが、全生徒数と比較するとごく少数である。報告会の内容等を検討し、派遣された生徒の体験が全生徒に波及していくよう報告会を工夫・改善する必要がある。				
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	学校教育課長 塚 俊彦					
⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	事務文書の作成、自動車・航空機の使用	規制を受ける環境法令等	無		
					緊急事態	無		